

正平甲一七四号

共四册

村田忠恕編
小學校習字帖
三宅敬造書
高等科女子用
卷三

28

檢

習三五
四

K120.71
34.2
3

K120.71

34.2

3

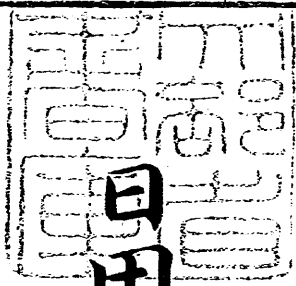
村田忠恕編

小學校習字帖

卷三

三宅敬造書

1951. 文部省審附



日用文字并日用書類

高三一

代議士辯護士執達吏公

證人社長頭取監査肝煎。

取締役支配人幹事委員

番頭手代丁稚小使給仕。

忠良信實正直英俊弘道

昭輝昌章賢資祐賴精修。

宇治西陣瀨戶輪嶋赤穂

高三五

伊丹木曾生野足尾高島。

日光鎌倉執熱海箱根山田

熱田熊野善光寺太宰府。

洪水旱魃虫灾害流作飢饉

凶荒秣場入合官林共有。

河原藪地露店糶賣物價

直段現金懸直精撰別製。

貯蓄預金取引勘定決算

報告利潤損失保證保險。

棟梁桁榑窓壁敷居鴨居

椽側軒廡廊下屋根二階。

縮上布天穢絨羅紗緞子

高三十

綸子縐子縐玲龍紋博多。

鉛錫水銀亞鉛真鍮赤銅

硫黃燧石琥珀瑪瑙水晶。

頸領頤喉髮眉髻舌唇齒

牙銀肋腕臂掌腿膝空指。

職業身分本籍寄留轉籍

旅行家督相續出產死亡。

後見保護代理委任地租

戶數割賦營業稅市町村費。

輕薄朴實者侈節儉盛衰

浮沈優勝劣敗利害得失。

当村方より某と申考貞節の座

女三十八

之を此程縁後履着下賜り。

村中肩身も廣き心地致し

若くは人の数を見てもなる。

茶の湯拵まき茶の湯の徳ありま

五ノ二十

別冊は目録に懸け茶の湯。

御村の良女某の坊状細る

女三十一

豆若子そ承うそふる涙咽ひ。

弟妹あがも語りつゝをせ且ハ

自ら身の轡も然——ありや。

横に書きたるは度はるる中

海見難く度はるる中。

素皮清娥 禮首尾 能く 満世 貞

華清一統 極の 御満 悦 是 聖 子 也。

素心は祝ひの心なりと云ふは
素心は祝ひの心なりと云ふは

五ノ廿五

素心は祝ひの心なりと云ふは
素心は祝ひの心なりと云ふは

宗は祝ひの印にうらなふを
宗は祝ひの印にうらなふを

宗は祝ひの印にうらなふを
宗は祝ひの印にうらなふを

五ノ廿五

興

年の初めは、
あけましておめでとう。

女三廿六

はじめてお正月に納めよう。

主許様より機端の葉由を

女三廿七

近所中へお礼の葉由を

爰許す所を以てあつし年を以てすむま

爰心算下なす所はは祝詞に
か

新年の祝福早くも届くように

女三廿九

嬉々お見舞い申し上げます。

贈 東の鶴の歌をよみかへしり由

限りかへしり由よみかへしり由。 〇

年深し御徳心愛し思召下されん

女三世一

口受け奉り祝儀迄が煩。

庭下塩梅の書取の空のせ

二五二

師の調理を成すはあひふ。

ふか減らる存ありては笑ふ

ふもと数種は陽に入ると。

珍御料理戴
尚
結海

女三
世四

長家
孫
貴
孫
山。

婚葬儀の祝言古婚女とせ給交

は節ぶらゝとふれし付。

ご子様方の口不斷呂お借る

お返しに口不斷呂。

明治二十八年二月五日印刷全二十八年二月九日發行
明治廿八年四月十日訂正再版印刷全廿八年四月十八日發行

村女習三
定價金八錢

版權所有

編者 村田 忠 恕

茨城縣水戸市櫻町三番地

筆者 三宅 敬 造

東京市京橋區千代田三丁目四番地

發行者 村田 通 也

東京市四谷區金番町甲番地

發行兼
印刷者

金港堂書籍株式會社

東京市日本橋區本町三丁目十七番地

代表者

原 亮 三 郎

東京市下谷區龍泉寺町四百十番地

金港堂書籍株式會社



